

《「川上ダム活断層確認現地検討会」実施打合せ会》'08/8/11

- * 打合せ会々場:(独)水資源機構 川上ダム建設所
- * 開催日時:2008年8月11日 13時05分～15時15分
- * 出席者:(社)大阪自然環境保全協会 新保満子
 - : (NPO)伊賀・水と緑の会 畑中尚、新保宏志
 - : 自然愛・環境問題研究所 浅野隆彦
 - : 流域住民個人 酒井隆

- : (独)水資源機構 川上ダム建設所副所長＝青山太洋
調査設計課長＝岩本浩 第一用地課長＝芦田哲郎
その他同所職員2名

- * 議事について(この打合せ会で、「川上ダム活断層確認現地検討会」を実施する為の必要不可欠と思われる事項について、出席者間で協議し、取り決めるものとする。以下に自然愛・環境問題研究所 浅野(案)を示す。)
- 1) 〈位置づけ〉: 淀川水系流域委員会第80回委員会における審議を引き継ぐ「現地検討会」である。実施の後、委員会に「フィードバック」する事になっているという事は、「水掛け論」にて終了するのではなく、「明確な学術的結論が得られる結果」を報告出来るようにしなくてはならない、と言う事である。
- 2) 〈水資源機構の役割〉: 事業者としての説明責任および本件の解明を果たす為、積極的に文書類の公開、人力・動力および会場の提供、地域への広報などを行わなければならない。
- 3) 〈報告書について〉: 両者の完全一致が可能であれば、統一意見報告書とする。そうでなければ、夫々が報告する形とする。
- 4) 〈報告時期について〉: 2008年9月25日を目途とする。
- 5) 〈立会いコンサルタントの招聘〉: 平成13年度 右岸鞍部地質調査業務担当コンサルタント(主任技術者)、平成12年度 合流部原石山試錐調査業務担当コンサルタント(主任技術者)の2者のみとする。特に、(株)八千代エンジニアリングの関係者は厳として拒否する。
- 6) 〈視察コースおよびポイント〉: 〈1〉右岸鞍部(北東側土石流堆積層→南側斜面F1断層露出部→おなじく、F2断層(複合)露出部: 露頭

断層および崖錘堆積層の裂罅部などを確認する。)

〈2〉西之沢橋東の露頭

〈3〉合流部原石山付近(北先端部の段丘堆積層→西側段丘堆積層→原石山頂上付近+ ボウリングGG-4付近)

〈4〉奥深瀬井堰付近・奥深瀬原石山付近

〈5〉前深瀬川左岸旧大円寺付近

〈6〉旧川上・上集落の西手奥(農業用水路付近など)

〈7〉川上ダム建設所にて、整理と纏めを行う。(建設所への移動にマイクロバスを利用提供する。)

- 7) 〈利用地質調査業務報告書類〉: 上記6)のポイントで行った地質調査業務報告書、地質図、ボーリング柱状図などを2部コピーした上、無償提供する。
- 8) 〈安全サポート体制〉: 特に右岸鞍部南斜面や合流部原石山頂上付近等の滑落防止などの支援を人的・物的に対応する。
- 9) 〈「川上ダム活断層確認現地検討会」の実施日程〉: 9月20日(土)、21日(日)、23日(秋分の日)の午後に設定し、雨天順延で実施する。
- 10) その他

〈 同意決定内容 〉

- 5) 〈立会いコンサルタントの招聘〉: 当時の業務担当コンサルタントの技術者達も変化があり、招聘が難しい。現在「川上ダム地質調査」業務担当のコンサルタントがあるので、頼めば無償で協力して貰える。(株)AEU一社とし、(株)八千代エンジニアリングは入れない、呼ばない。
- 6) 〈視察コースおよびポイント〉: 〈1〉右岸鞍部(南側斜面F1断層露出部)⇨上の県道に戻り、マイクロバスで移動⇨〈2〉西之沢橋東の露頭⇨マイクロバスで移動⇨〈3〉右岸鞍部(南斜面下F2断層露出部)⇨マイクロバスで移動⇨〈4〉奥深瀬井堰付近⇨歩いて⇨〈5〉旧大円寺付近⇨マイクロバスで移動⇨〈6〉旧川上・上集落の西奥にある鞍部周辺⇨マイクロバスで移動⇨川上ダム建設所会場に於いて「検討会」(整理と纏め)を行う。
- 7) 〈利用地質調査業務報告書類〉: 「検討会」(整理と纏め)会場にて使用するものは建設所が用意しておく。前もって学者の検討用に右岸鞍部南斜面の地質平面図、断面図、写真(P-7, P-13, P-14)等を1部、浅野宛に郵送する。
- 9) 〈「川上ダム活断層確認現地検討会」の実施日程〉: 建設所サイドから、「実施日を8月31日(日)にして貰いたい」と言う求めが出た。住民サイドは「参加住民などが熱中症に成ったりしないように、暑

熱を避ける為、秋分の日辺りの実施とするよう求め、他にも月末には様々な用件があつたりするので困難とする」意見なども出ていた。この場にては、「学者達の都合もあるので、調整を浅野が行う事」になった。

10) 〈その他〉: 崖錘堆積層部分の断裂などを確認する為に、人力掘削が出来る体制をとる事が約束された。

* 「現地検討会」実施の広報は、記者発表を10日前ぐらいには行うと共に、桐ヶ丘住宅団地へは新聞折込チラシでも行う。希望者は3日前までに申し込みを行い、予約をして貰う。急斜面や藪の中を歩くことなど知らせておく。

* 更に調査確認の必要がある場合は、双方協議の上で別途実施する。

1)から4)及び8)については、双方異存なく上記のような打ち合わせ結果と成ったことを報告します。 2008年8月12日

自然愛・環境問題研究所 代表 浅野隆彦